

5歳児 ちゅうりっぷ組 V期 9月27日~10月2日

教師

修行をするぞ！！

運動会の練習が中心となり、ごっこ遊びが停滞している。練習だけでなく、忍者を意識したごっこ遊びをもっと発展させたい。

忍者に詳しい、に、『隠れる』以外の術について聞き出す。『まきびし』『蜘蛛の巣くぐり』などについて教えてくれた。

もっと面白くするにはどうしたらいい？



運動会（障害走）ではフープは横並びだが、自分達で工夫している



強い忍者になってきた気がする・・・  
②④ここからやってみよう・・・

【育ちの芽生え】

- ②自立心
- ③協同性
- ⑥思考力の芽生え
- ⑧数量・図形、文字等への関心・感覚
- ⑩豊かな感性と表現

教師

<まきびし作り>  
凧が踏んだら痛そうな色を選び、友達と一緒に作る（銀色・・・刃物の色）  
⑥ 達が銀色の折り紙を裏面が見えないように、また角を尖らせて作った。

（まきびしを踏まないように着地！！）  
おっと、危ない、危ない・・・

<蜘蛛の巣作り>  
教師はゴム紐も提示したが黄色い紐を選び、交差させながらピンと張って作っていた

先生、鈴とかある？触ると音が出ると面白いよ  
（③④教師からもらった鈴を、は取り付け位置を考えながら一つ一つ丁寧に取り付けていた）

⑩赤忍者！！背中潜りの術！（何度も繰り返す）



⑧所々に『心技体』の文字が貼ってあった。（が書いていた）

- 今までの忍者ごっこにいくつかの新しい術を取り入れただけで、遊びが広がりより成りきって楽しんでいた。いかに教師のきっかけ作りが大切であるか気付かされた。
- 今までの『やればいい（作ればいい）』ではなく、少しの手間暇かけて設置したり作ったりすればより本物らしくなって遊びが長続きできることに気付いたようだ。
- それぞれが自分のできること（得意なこと）で役割分担をし、遊びを進める姿が見られ、みんなで楽しむ姿が見られた。